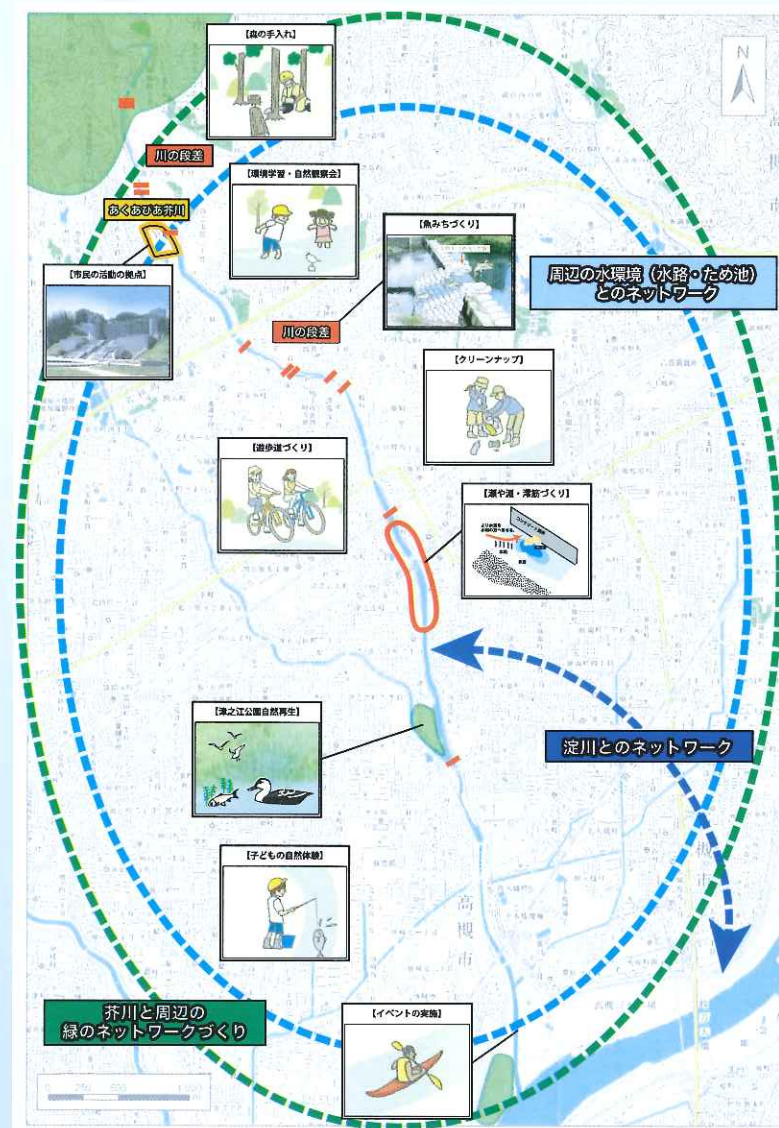
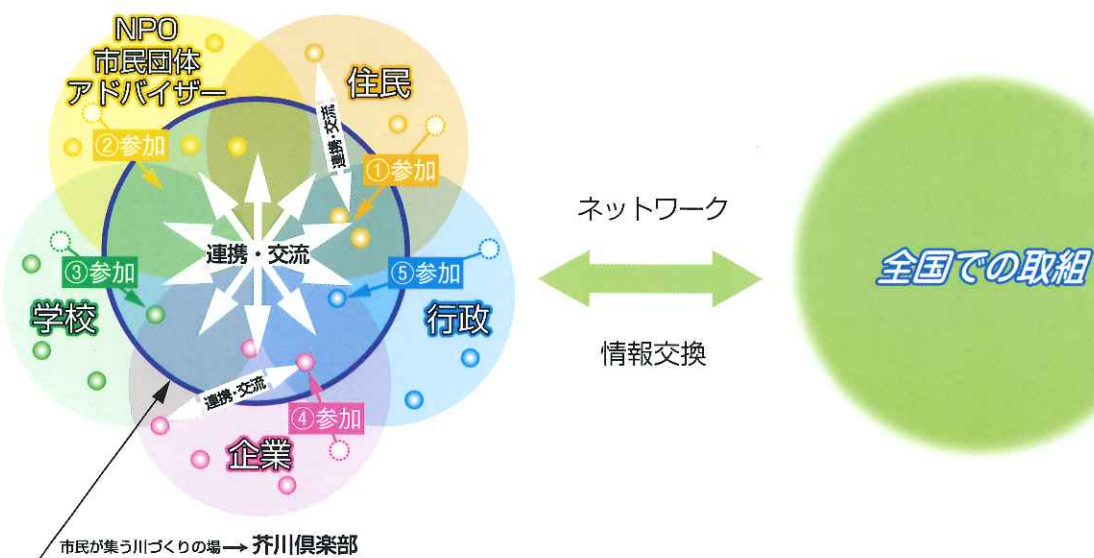


川づくり推進のイメージ



芥川創生基本構想マップ

芥川倶楽部
(芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク)
<http://akutagawaclub.web.fc2.com/>

大阪府茨木土木事務所
TEL. (072) 627-1121
FAX. (072) 625-8060

高槻市市長公室政策企画室
TEL. (072) 674-7393
FAX. (072) 674-7384



芥川・ひとと魚にやさしい川づくり

～芥川創生基本構想(抄)～

考えてみませんか、未来の芥川を……
想いだしてみませんか、昔の水辺を……



【基本構想の目的】

一級河川芥川において、昨今の自然回復の兆しをより確実にするため、豊かな生態系を取り戻し、それを次代に引き継いでいくことが重要であると考えています。

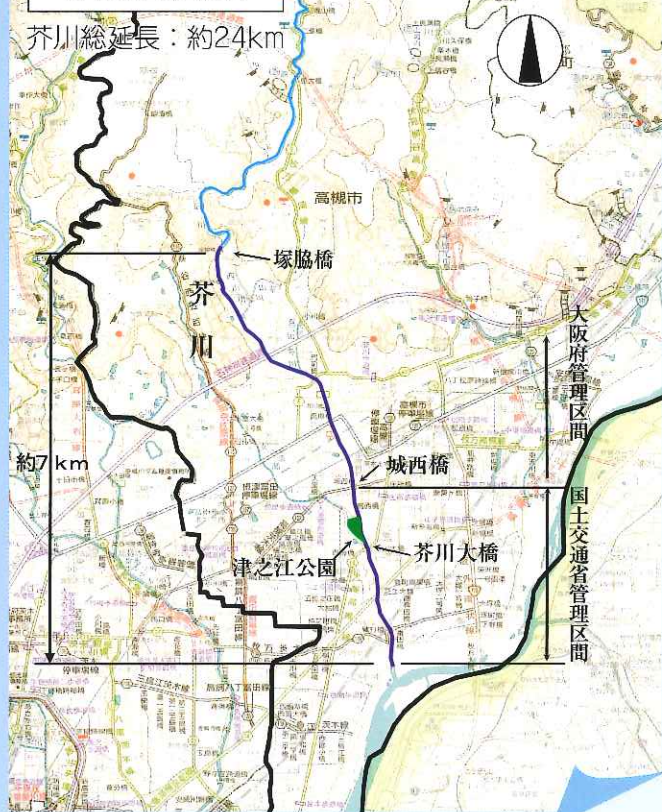
そこで、この基本構想は、ふるさとの川「芥川」において、さらに豊かな生態系の回復を目指して、自然・歴史を守り育て、また多様な生き物との触れ合いを通じて、より市民の心の豊かさを回復する。そんな芥川を目指し、今後、芥川倶楽部や多くの住民、行政が、持続性をもって「芥川 ひとと魚にやさしい川づくり」に取り組むための基本的な指針として、学識経験者の助言を受けながら、平成18年9月に芥川倶楽部・大阪府・高槻市で策定したものです。

<芥川創生基本構想(抄)>

【理念】

- アユをシンボルとして芥川流域の自然を守り育てて豊かな生態系の回復を目指し、水や生き物との触れ合いや人との交流を通じて豊かな心を育める「人と魚にやさしい芥川」をつくっていく。
- 治水・利水については、先人たちの体験や知恵を活かしながら、流域を視野にした洪水対策や用水等への活用を図り、また、住民と行政が連携して災害に備えるコミュニティをつくっていく。

<芥川位置図>



【目標】多くの命を支える川

「多くの生き物が次の命を育むための環境をつくろう」

- ①多くの種類の生き物がすめる空間をつくろう
地域特有の種など多くの命を支える多様な空間をつくっていく。
○川の中の多様な環境づくり(流れや深さ、底質などが異なる多様な環境が形成される工法を施す。)
○水辺の多様な環境づくり(水際などに生き物にやさしい工法を施し、自然を回復する。)
○芥川と周辺の緑のネットワークづくり(芥川を軸にして周辺も含めて緑のネットワークをつくり、多くの生き物が棲む自然の軸とし、また、芥川を風の道とすることでヒートアイランド現象の抑制を図る。)
- ②生き物が自由に行き来できる川をつくろう
生き物が生息していく上で必要な移動経路を確保し、多くの生き物が更に育める川にしていける。また、つなげたことで侵入する外来種への対策も検討する。
○魚みちづくり(落差工や水深のない流路に魚みちづくりや滞筋を整えて、上流から淀川そして海までといった縦方向のネットワークをつくる。)
○芥川と周辺の水環境とのネットワークづくり(芥川と周辺の水路、農地やため池などをつなぐ仕組みを検討し、生き物が行き来できる横方向のネットワークをつくる。)
○流量の確保(水生動物が移動可能な流量を確保するため、雨水などの未利用水の活用を検討する。)

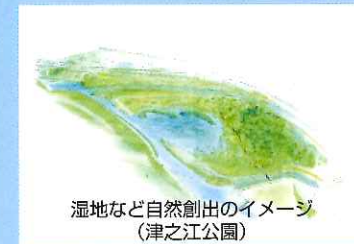
各種イメージ



川の中の多様な環境づくりのイメージ
(瀬と淵の創出)



魚みちのイメージ
(JR鉄橋下流)

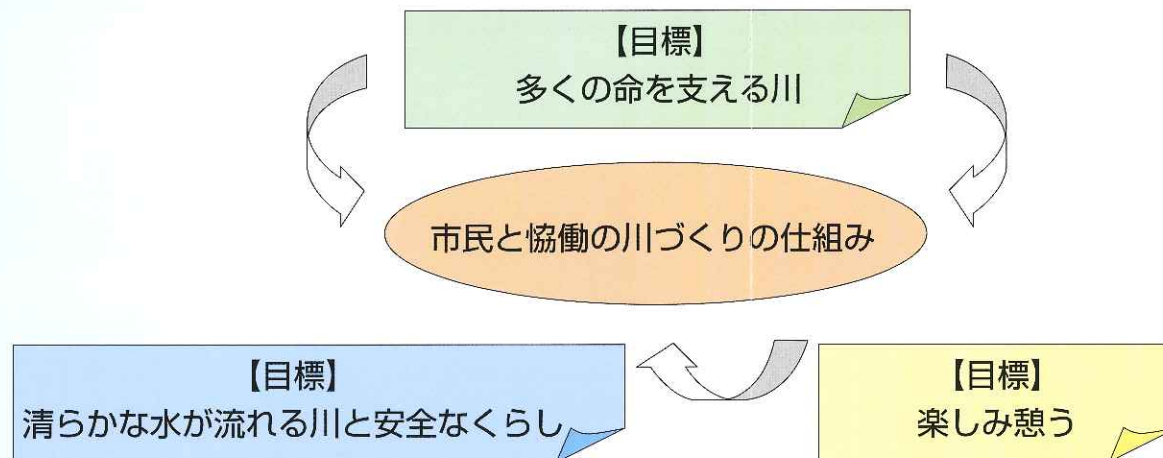


湿地など自然創出のイメージ
(津之江公園)



遊歩道のイメージ
(門前橋上流部)

3つの目標



目標	主な取組
多くの命を支える川	魚みちづくり(落差工魚道、滞筋など)
	周辺水環境とのネットワークの形成
楽しみ憩う	津之江公園自然再生
	遊歩道の整備
	河川の調査・研究・情報発信 (モニタリング、広報活動、環境学習、観察会等)
	活動拠点の整備
清らかな水が流れる川 と安全な暮らし	活動組織の拡充(NPO化、関連組織との連携等)
	河川の保全(河川清掃、啓発、特定外来種の調査・研究等)

【目標】清らかな水が流れる川と安全な暮らし

「清らかな水が流れる美しい芥川と洪水のない安全な暮らしを流域で築こう」

- ①清らかな水、美しい水辺を育もう
森林などの水源を守り、清らかな水や美しい水辺を育む。
○森林の保全(森林の間伐といった管理を行い、水源を守り、水質、水量を確保する。間伐材は川づくりの素材として有効に利用する。)
○水質の浄化(流域の中で水を汚さないよう配慮し、また、自然の素材を利用した水質浄化を検討する。)
○水辺の美化(河川の清掃とごみを捨てない啓発を行い、美しい水辺をつくる。)
○水の利用(豊かな水の恵みを受け、地域の生活や産業への活用を図る。)
- ②安全な暮らしを築こう
自然の保水や遊水機能の活用など流域で総合的に洪水を防ぐ川づくりと、災害に備える防災マップやコミュニティづくりを行い、安心して暮らせるまちをつくる。
○防災マップづくり(洪水時の浸水状況や危険箇所、避難場所などを盛り込んだ防災マップづくりを地域の自治会や小学校と連携して行う。)
○防災コミュニティづくり(災害時の連絡や連携が備わったコミュニティをつくる。)

【目標】楽しみ憩う

「水や多くの生き物、そしてそこに集う人々との触れ合いを楽しもう」

- ①楽しみ憩える場をつくろう
芥川を望む良好な風景や、市民がその風景を眺めながら散策できる道、そして水際まで近づき水や生き物と触れ合えるような空間をつくる。
○遊歩道づくり(自然を守りながら遊歩道をつなげていき、散策と歩行者や自転車が芥川に沿って高槻市の南北方向への移動ができるようにする。)
○水を楽しむ空間づくり(遊歩道から水際まで近づいて水や生き物と触れ合える空間を、自然に配慮しながらつくる。)
○芥川の景観や歴史、文化を活かしたまちづくり(芥川を軸に流域での景観や歴史文化の資源を活かしたまちづくりを行う。)
- ②芥川を学び伝えよう
市民活動の拠点づくりを行い、より多くの市民が芥川を知って川づくりを支えるようにする。
○情報発信(機関誌やホームページを通じて芥川のことを多くの人に知ってもらう。)
○環境学習、自然観察会、イベントの実施(芥川の自然、文化、歴史をわかりやすく解説する人、インタープリター(語り部)を活用し、楽しみ、学び、触れ合える機会を設ける。)
○子どもの自然体験(子どもたちが身近な場所で自然と触れ合えるように芥川全体を自然体験の場としていく。)